



# 特集 環境

# E

N V I R O N M E N T

人間と環境のよりよい関係をめざして

環境とは私たちを取り巻くすべてのものであり、生存基盤そのものといえます。それは、生活環境と自然環境に大別できますが、両者のバランスのとれた良好な状態が望ましい「環境」であることは言うまでもありません。しかし、今日、地球の温暖化、オゾン層の破壊等の地球規模での環境問題から地下水汚染、中小河川の汚濁等の身近な環境問題まで、私達をとりまく環境破壊や汚染に対する警鐘が鳴らされています。しかも、その原因の多くは私達一人ひとりが便利で快適な生活環境を追求してきた結果が積み重なって起きてきたものであることは皮肉なことです。いくら合理的に文化的に生活できても、その営みの根本である生命は、バランスのとれた自然環境があつてはじめて保てるものなのです。私達は環境から計り知れない恩恵を受けてきました。しかし、その環境を守り育てることに私達は、どれだけ配慮してきたでしょうか。今度は私達が環境に恩返しをする番です。一人ひとりができることは小さくとも、かけがえのない地球を次の世代に引きつぐためにも、今やれることから着実な取組を始めるときがきているのです。

熊本県は水俣病という環境破壊の体験を持っています。それだけに世界中が環境を考えはじめている今、私たちが熊本県民が果たすべき役割は極めて大きいのです。

## 食べ物の残りなどを流さない……九十二% 県政モニターアンケートから

ここに、県政モニター二百人に対する「環境問題」アンケート報告があります。調査時期は平成二年六月十三日から六月二十六日。その中からいくつかの問いとそれに対する答を紹介します。

(下記アンケート結果参照)

熊本の美しい水や緑を守るために、生活の中で心がけ、工夫がなされている様子が伺えます。ゴミ減量化運動や緑化運動など、環境に配慮した取り組みが多方面でなされていることが分かります。また、現在の取り組みという質問では、「フロンガスや有機塩素溶剤を使わない」と答えた人が十七・四%ですが、今後早急に取り組みが必要だと考えていることは、という問いに対しては同じ答が三八・八%を占め、確実にその意識が育っていることが伺えます。環境問題の現状とその意識を考えると、今後私達が取り組むべき余地は大きいといえます。

そのような中、熊本県内の各地で、確実な意識を持って自分のできることから取り組んでいくという実践家が活躍されています。

1 川の汚濁原因の約70%が、家庭からの雑排水といわれていますが、あなたの家では排水の処理について、ふだん心掛けていますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

- ①油類を流さないようにしている 154(86.5%)
  - ②食べ物の残りや野菜くずを流さないようにしている 162(91.0%)
  - ③合成洗剤を使わないようにしている 48(27.0%)
  - ④別段なにも心掛けていない 6(3.4%)
  - ⑤その他 15(8.4%)
- ・台所や風呂場の排水口にネット等を取りつけて、ゴミなどを流さない(5) ・廃油で石鹸をつくり、使用している(3) ・台所の残り物を家畜にやったり、堆肥づくりをしている(2) ・合併浄化槽を設置している(2) 米のとぎ汁を庭木等にやっている(2) ・合成洗剤を希釈して使っている(1)

2 質問1以外の事項で現在、あなた或いはあなたの地域で環境問題について、何か環境に配慮した取り組みを行っていますか。行っているものをいくつか選んでください。

- ①緑化運動 60(33.7%)
  - ②ゴミを少なくする(リサイクル)運動 76(42.7%)
  - ③省エネルギー(省電力、ノーカーダー等)運動 26(14.6%)
  - ④再生紙の利用 31(17.4%)
  - ⑤フロンガスや有機塩素溶剤を使わない 31(17.4%)
  - ⑥特に行っていない 40(22.5%)
  - ⑦その他 25(14.0%)
- ・定期的に地域の清掃活動をしている(10) ・廃油で石鹸をつくらせている(合成洗剤の追放)(7) ・川をきれいにする運動や勉強会に参加している(4) ・家庭ゴミはなるべく庭先で処理(埋めたり、燃やしたり)している(2) ・古新聞、古雑誌を塵紙交換に出す(1) ・紙オムツを使わない(1)

3 今後、あなた或いはあなたの地域で環境問題について、早急に環境に配慮した取り組みを行う必要があると考えていることはありませんか。考えているものをいくつか選んでください。

- ①緑化運動 5.1(28.7%)
- ②ゴミを少なくする(リサイクル)運動 124(69.7%)
- ③省エネルギー(省電力、ノーカーダー等)運動 43(24.2%)
- ④再生紙の利用 89(50.0%)
- ⑤フロンガスや有機塩素溶剤を使わない 69(38.8%)
- ⑥特に行っていない 3(1.7%)
- ⑦その他 37(20.8%)

4 最近、地球的規模の環境問題が、世界的に関心を集めています。次の中であなたが最も早急に対策が必要であると考えられる事柄を1つ選んでください。

- ①オゾン層の破壊 46(26.0%)
- ②地球の温暖化 38(21.3%)
- ③酸性雨 14(7.9%)
- ④熱帯林の減少 25(14.0%)
- ⑤砂漠化 1(0.6%)
- ⑥発展途上国の公害問題 10(5.6%)
- ⑦野生生物種の減少 4(2.2%)
- ⑧海洋汚染 11(6.2%)
- ⑨有害廃棄物の越境移動 11(6.2%)
- ⑩関心がない 0(0.0%)
- ⑪その他 18(10.1%)